

那須塩原市の脱炭素取り組み紹介

▶問い合わせ 西カーボンニュートラル課 ☎0287(73)5651



<青木地区ゼロカーボン街区構築事業>

市の主要産業である酪農業が盛んな青木地区で、再生可能エネルギーの地産地消などによる脱炭素化の実現と、災害などによる系統停電時に電力供給を可能とする「ゼロカーボン街区」を構築。



- ・住宅、事業所、酪農家などへ太陽光発電設備および蓄電池を導入し、CO2排出量削減と災害への対応力を高める(レジリエンスの強化)
- ・那須野ヶ原みらい電力(地域新電力)による再生可能エネルギーの地域内循環、地域マイクログリッド(電力ネットワーク)の構築

〇青木地区ゼロカーボン街区構築事業補助

【対象設備】太陽光発電設備・蓄電池
【設置箇所】青木地区内の住宅、酪農施設、事業所またはその敷地
【補助額】設置費の3分の2
【事業期間】令和8年度まで

<カーボンニュートラル実現(脱炭素経営)に向けた補助>

<那須塩原市ゼロカーボン・コンソーシアム>

世界的に脱炭素の取り組みが必須となっているなか、市内の企業や団体が連携して脱炭素社会の実現を目指すための仕組みとして、コンソーシアム(共同事業体)を設立。

ゼロカーボン・コンソーシアム定例フォーラム

- 〇とき 11月20日(木) 午前10時~正午
- 〇ところ いきいきふれあいセンター
(※オンライン配信あり)
- 〇プログラム概要
 - ・企業の経営課題改善のための脱炭素経営について
 - ・脱炭素経営の具体的な手法の紹介
 - ・脱炭素経営に活用できる補助金の紹介
- 〇登壇者
(株)足利銀行、(株)栃木銀行、日産プリンス自動車販売(株)、栃木日産自動車販売(株)
- 〇定員 対面 100名/オンライン 200名



申込フォーム

<デコ活の推進>

エコポイントアプリ「エンジョイecoなすしおばら」

「デコ活」とは、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る活動のこと。
アプリ「エンジョイecoなすしおばら」では、エコバックやマイボトルの使用など、脱炭素につながる取り組みを実施するとアプリ内でポイントがもらえる。ポイントは特典と交換が可能。



ゼロカーボン街区構築事業補助金を活用！

事業者コメント ①



人見ファーム

地球温暖化対策への貢献と、高騰する電気代の削減のため、太陽光発電設備を導入しました。この取り組みが、地球と経営にやさしい未来につながることを期待しています。



空撮動画
(市ホームページ)



ひとみ たかよし
代表 人見 孝允 氏

今後につながるアイデア

相馬 私どもとしても、今回脱炭素への取り組みを実施した中で、市が脱炭素先行地域に選定され、持続可能な地域として発展できるとともに補助金などの支援を受けられるため、非常にありがたい取り組みだと思っています。

相馬 昨年、ガストロノミーウォーキングイベントや道の駅明治の森・黒磯でのクリスマスマーケットに参加をさせていただきました。地域共生につながる、このような市の取り組みに今後も積極的に参加したいと考えています。また、ワインを通して市民の皆さんと接点が増えていければいいと思います。具体的には、乳製品とワインのペアリングセミナーなどが面白いかなと思います。

渡辺 私もワインが好きなので、ゼロカーボンとワインを組み合わせながらのPRをエノテカさんと一緒にできたらいいですね。
環境政策は我慢することが多いと思います。「電気消そう」とか「こみ捨てるな」とか。それだけではなく、何かわくわくする、面白そうな取り組みを増やしながら、ビジョンと一緒に作っていかれたらと思います。市では、いろいろなイベントがあります。基本的にはゼロカーボンで実施するという気持ちでいきたいと考えています。

脱炭素経営に必要な支援

相馬 現在エノテカでは、ワインを包装する包装資材などを紙素材に切り替えることで、プラスチックごみの削減に取り組んでおります。全国の各ショップから順次導入の開始を予定しており、那須エイジング・ワインセララーへの導入も検討しております。

相馬 PPAモデルでは、初期投資や自社での保守管理などが不要であり、また、市からの補助金もあるため、安心して導入しやすいメリットがあります。
太陽光発電は費用負担が一番のハードルだと考えている人が多いと思うので、不安がなくなるようなアピールをする事が大切なのではないかと思っています。

渡辺 企業がカーボンニュートラルに取り組むことで付加価値が上がるような、本市のゼロカーボンの具体的なビジョンを示していく必要があると思っています。資源が限られている日本において、エネルギーとカーボンニュートラルは密接に結びついているので、今後もこの取り組みを進めていきたいと思っています。



事業者コメント ②



株式会社那須環境技術センター

「脱炭素社会」への貢献を目指し、太陽光発電設備を導入しました。以前から取り組んできた環境活動に加え、市の脱炭素先行地域事業に協力することで、非常時の電力供給という形で地域に貢献したいと考えています。



空撮動画
(市ホームページ)



ふくだ あつし
代表取締役 福田 篤志 氏